

手足口病の発生状況について(続報その 2)

横浜市では、手足口病が 1995 年以來 16 年ぶりに大流行しています。

感染症発生動向調査における手足口病の患者発生報告状況

平成 23 年 週一月日対照表

全国的に手足口病が大流行していますが、横浜市でも 16 年ぶりの大流行となっています。第 31 週では、横浜市全体の報告数はやや減少に転じましたが、依然として流行状態は継続しており、引き続き注意が必要です。

第 27 週	7 月 4 ~ 10 日
第 28 週	7 月 11 ~ 17 日
第 29 週	7 月 18 ~ 24 日
第 30 週	7 月 25 ~ 31 日
第 31 週	8 月 1 ~ 7 日

なお、手足口病の原因ウイルスは、CA16 や EV71 が一般的ですが、今回の全国的な流行では **CA6 が多く検出**されており、横浜市でも、病原体定点から CA6 が検出されています。

静岡県の報告¹⁾によると、今年 CA6 が検出された手足口病では、**発熱率が高い、発疹が手掌や足底にはむしろ少なく、上腕・大腿部および臀部に高頻度に認め、口囲や頸部周辺にも認める**等の特徴が指摘されています。また、CA6 による手足口病では、**罹患 1~2 か月後の爪甲脱落症**も報告^{2),3)}されているので、今後の注意が必要です。(詳しくは下記ホームページをご参照ください。)

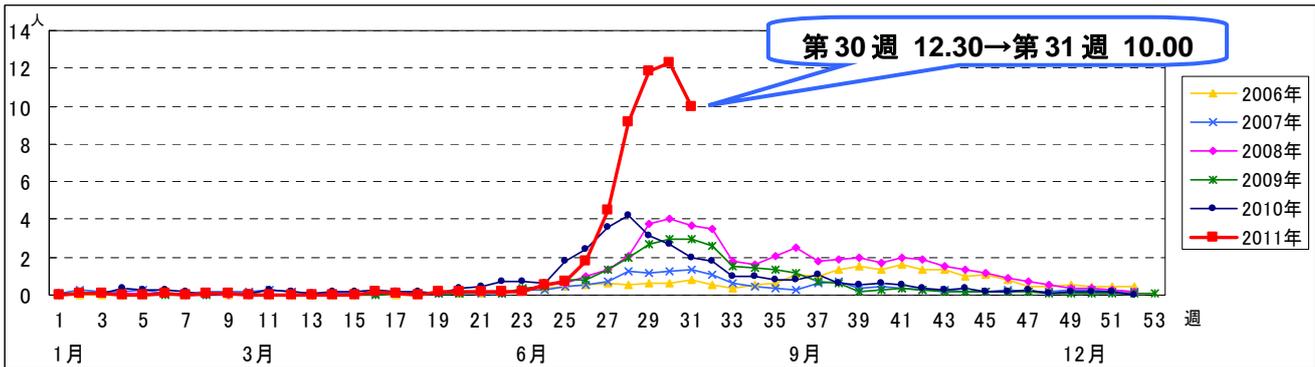


図 1 患者定点医療機関からの手足口病定点あたり報告数(第 27 週から第 31 週)

- IASR<速報>2011 年のコクサッキーウイルス A6 型感染による手足口病の臨床的特徴—静岡県 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3784.html>
 - 浅井俊弥. 手足口病に続発した爪甲脱落症. 皮膚病診療 2011; 33(3):237-240.
 - IDWR 第 28 号<注目すべき感染症> <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2011/idwr2011-28.pdf>
- 参考: 衛生研究所ホームページ 手足口病について <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/handfoot2.html>

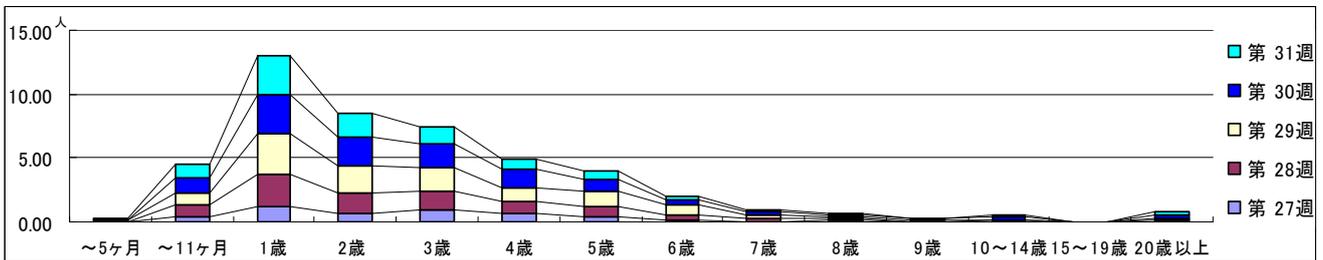


図 2 手足口病年齢別定点あたり報告数(第 27 週から第 31 週)

子供の手足口病がその親に感染したと考えられるケースも報告⁴⁾されており、特に子供の排泄物の処理に際しての手洗いなど、予防対策の徹底が重要です。

- IASR<速報>コクサッキーウイルス A6 型による手足口病の成人例—大阪府 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3786.html>